

## 「恵那市みらいビジョン2045（第3次恵那市総合計画）」（案）等に対するパブリックコメントの結果と市の考え方

### 1. パブリックコメントの概要

募集期間：令和7年5月20日（火）～6月20日（金）

対象者：市内に在住か在勤、在学の方／市内に事業所を有する個人か法人、その他の団体

提出方法：市役所（企画課）へ持参、郵送、ファクス、メール、専用フォーム

### 2. 意見の数

7通（5人）（うちメール1通、専用フォーム6通）

### 3. 意見と市の考え方

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
1	5月20日	<p>「食」は命の源です。子どもたちをはじめ、すべての市民の命と健康を守るために、私たちは体に取り入れる「食」の質を根本から見直す必要があります。給食や食育、そして販売拠点を通じて、恵那市から食のあり方に変革を起こしていけたらと願います。食品添加物、残留農薬、遺伝子組み換え食品、さらにはゲノム編集食品など、私たちの体に取り込まれるものへの不安は年々高まっています。そして日本の発がん率は依然として高く、食との関連は無視できません。</p> <p>今こそ、給食をはじめとする食材の質を根本から見直し、安全・安心な「食」の実現に取り組む時だと思えます。命を育む本質的な「食」の在り方を、ここ恵那市から見直していけるようになるといいなと思えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、市民の皆様の健康を守るうえで、食の安心・安全は大切であると認識しております。</p> <p>本計画案においても、学校給食の市内産農産物の使用率向上を目指しているところです。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
2 (1)	5月23日	<p>2045年を想定している割には、既存の話に終始し、一番の外的環境変化である、リニアを活用したインフラの整備、市としてのオペレーションを維持していく為に急務な移住者が必要ということとその受け皿の想定などが記載ありません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画案では、「リニア開業を見据えて新しい人の流れをつくる」を重点テーマに掲げています。ご指摘のインフラ整備といったハード面に加え、ソフト面も含めた総合的な方向性を示しております。</p> <p>また、前述の重点テーマの「新しい人の流れ」には移住促進も含んでおります。</p> <p>「受け皿」については、移住者のニーズや社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう、現時点で詳細な想定は記述しておりませんので、ご理解いただけますと幸いです。</p>
2 (2)	5月23日	<p>リニアの完成により時間的な位置付けとして、恵那市は、現在の関東平野の中での湘南、八王子調布、埼玉と同じような位置付けになる恵那市をイメージする必要あり、その位置メリットを生かすための最大限のインフラ整備。</p> <p>(1) 現在の新幹線の三河安城のような世界に冠たるトヨタの玄関になれるような中津川―豊田間の高規格道路の整備。</p> <p>(2) リニア中津川駅前の大型廉価の立体・地下駐車場整備。</p> <p>(3) 明知鉄道と中津川の直通運転の実施による恵南地区からのリニアへのアクセス向上。</p> <p>(4) 岐阜県知事の定義された、新規省庁である防災省の恵那への誘致。中央省庁の恵那への誘致活動の活発化。真の意味でのリニアの活用。</p> <p>(5) 中央官庁を含む移住者を受け入れる、里山の中での駅近高層マンションの建設。明知鉄道の各駅前に高層マンションの建設。在宅勤務を可能にする高速通信網の整備。</p> <p>ざっと今思いつくだけでもこんなインフラ整備、活動ができるのに、本資料は、抽象論ばかりで今ある状況の総花的な羅列の記載で全く未来や夢を考えた具体的な提案が記載されていない。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、リニア開業によって恵那市が首都圏と時間的に近接し、そのメリットを活用することが重要であると認識しております。</p> <p>総合計画は、市のまちづくりの最上位計画であり、その性質上、個別の具体的なプロジェクトや事業計画を詳細に記述するものではございません。また、社会情勢や技術の進展、市民ニーズの変化に柔軟に対応できるよう、あえて具体的な内容を限定せず、多様な可能性を包含する抽象的な記述に留めておりますので、ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
2 (3)	5月23日	<p>世界に冠たるトヨタの海外事業拠点で引退されたトヨタ幹部に明智に移住してもらう。明智ビバリーヒルズプロジェクト。明知鉄道経由で、簡単に品川経由で海外と、トヨタ本社に30分(残念ながら現在は1時間)のアクセス。グローバルに活躍するトヨタマンにはピッタリ。何より自宅を中心に10キロ以内に12のゴルフコースあり。海外勤務者にとってのゴルフが身近にあることは何よりの魅力。そんなことをアピールし評判になれば、若年、高年収の東京からの移住者はかなり増え地方税もかなり増えることが期待できます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、リニア開業を契機とした東京をはじめとする都市圏からの移住が、恵那市にとって重要な「新しい人の流れ」となると考えています。</p> <p>ご指摘いただいたゴルフコースが身近にあるといった恵那市ならではの都市部にはない魅力は、移住を検討される方々にとって大きなアピールポイントであると認識しております。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
2	(4) 5月23日	<p>高所得者が増えることのメリットは、昔の明智の歴史を紐解くまでもなく高級食材が容易に入手できるようになり、一方普通の観光客の貧しい外食ではなく、60年前の昔の明智のような高級食事店もいくつもでき、これを目当てに来訪する人間も増えるはず。シャッター商店街の解消策は高所得者を移住させること、これが2045年の恵那・明智を60年、100年前の活気のある街に戻す秘策である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 市としても、高所得者層の方々も含め、様々な世代や価値観を持つ方々に選ばれる魅力的なまちづくりが必要であると認識しております。 その結果として、ご指摘のような経済効果や地域の活性化に繋がるものと考えております。 ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
2	(5) 5月23日	<p>リニアという神様のくれた機会を100%生かして、それをもっと活用するようなインフラ建設、リニア―豊田を結ぶ高規格道路の建設、明知鉄道の活用こそ恵南を復活させる3つの大きなKEY WORD。 明知鉄道の終点である明智駅にはトヨタ・グループ会社への出張者用のビジネスホテルが立ち、レンタカー会社3社くらいが店をおき、高所得者が楽しむ高級レストランが数件、現在の三河安城を凌駕するような活気のある街になります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 市としても、リニア開業を最大限に活かすことが重要であると認識しております。 ご指摘いただいたような交通アクセスの向上や恵那市を訪れる方が快適に滞在できる環境（ホテル、レンタカー、飲食店などの充実）が大切であるとと考えております。 ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
3	(1) 6月17日	<p>■7ページ (4) 将来人口推計 (意見・提案) 目標人口を設定する。 (理由) 現在の第二次総合計画では、基本構想部分に「令和7年 目標人46,000人」と記載しています。当初計画から下方修正しましたが市として掲げる目標に向かって努力してきたと思います。 しかし、計画案・基本構想部分には、人口推計があるのみで、市が目指す「目標人口」の設定がありません。自治体運営において「人口」は、財政、行政サービスと密接に連動しており、基礎となるデータです。市の最上位計画である総合計画を進める上で、目標人口は最も重要な「KPI」(数値目標)であると考えます。人口増加は無理だとしても、みらいビジョンというならば、将来を展望できる目標人口を設定し、市民とともに共有し、オール恵那市で人口減少に取り組む体制をつくっていくことが重要ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 市としても、自治体運営において、人口というのは重要な要素であると認識しております。 今回、本計画で目標人口を設定していない主な理由は、人口の増減が国の動向や社会情勢に大きく左右されるものであり、市単独で達成する数値目標としての設定は困難であると考えたためです。 数値目標としての目標人口を設定するのではなく、推計人口通りの人口になったとしても、市民の皆様が幸せに暮らせるまちづくりを目指すという考えのもと策定しています。ご理解いただけますと幸いです。 ただし、これは人口減少対策をしないということではありません。各分野において「子育てしやすい環境づくり」、「魅力ある産業の創出」、「地域コミュニティの活性化」といった多角的な視点から、人口減少の緩和にも努めてまいります。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
3	(2) 6月17日	<p>■25ページ 協働のまちづくり</p> <p>計画案には、『「協働のまちづくり」とは、現代社会が抱える様々な課題を解決するために、地域に住む人々、行政、企業などが、それぞれの立場や能力を活かし、互いに協力し合いながら、より良いまちづくりを進めていくことです。恵那市の協働のまちづくりは、関係団体との連携強化や、地域自治区制度を活かして、市民一人ひとりが、地域のまちづくりに積極的に関わることを促すなど市民主体のまちづくりを目指します。』と記載されています。</p> <p>(意見・提案)</p> <p>①上記の文章を以下のように文言追記、修正を提案します。</p> <p>「協働のまちづくり」とは、現代社会が抱える様々な課題を解決するために、地域に住む人々、行政、企業などが、それぞれの立場や能力を活かし、互いを尊重し協力し合いながら、※協働の原則に基づきより良いまちづくりを進めていくことです。(※協働の原則 ○対等 ○相互理解 ○目的・課題共有 ○機会平等・公開原則 ○協働の期間)協働のまちづくりを進めるにあたって、市は、関係団体との連携強化や、地域自治区制度を活かして、市民一人ひとりが、地域のまちづくりに積極的に関わることを促すなど市民主体のまちづくりを目指します。</p> <p>②「協働」について市民と行政がより一層共通理解する学習の機会をつくることを市として行うこと。</p> <p>(理由)</p> <p>「協働のまちづくり」という言葉を計画に記載することは大変意義のあることだと思います。そして、協働を進める上で、協働とは何か、その意味合いを記載し、市民も行政も共通理解することはさらに重要なことです。現在、協働の在り方を示している「恵那市協働のまちづくり指針」がありますので、その中にある言葉や文章を使って、よりわかりやすい表現にしていきたいと思います。さらに、「協働のまちづくり指針」をつくってはいるものの、指針という性質上目に触れる機会が少ないし、作られてからかなり年数が経っていることもあるので、総合計画に改めて位置づけ、文言化したこの機会に周知、市民との学習機会が必要ではないかと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>①について：「互いを尊重し協力し合いながら」という文言の追記や、「協働の原則」を盛り込むことについて、市としても計画の趣旨がより明確になり、市民の皆さんと共通認識を深めるうえで、重要だと思います。ご提案のとおり、文言を修正、追加させていただきます。</p> <p>②について：ご指摘の通り、「恵那市協働のまちづくり指針」の内容が広く周知されているとは言えない現状があります。市としても、市民の皆様と「協働」について学習する機会の創出が必要であると考えております。ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
3	(3) 6月17日	<p>■ 25 ページ ダイバーシティの尊重</p> <p>計画案には、『恵那市の「ダイバーシティの尊重」は、男女共同参画のまちづくり、マイノリティーの方々も安心して暮らせるまちづくりなど、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指します』と記載されています。</p> <p>(意見・提案)</p> <p>31 ページ取り組みの柱「協働のまちづくりの推進」の中での取り組みの一つとして「男女共同参画の推進」と明記してください。その上で、「ジェンダー平等視点で働きやすい職場環境の整備、魅力的な職種の充実、男性の家庭参画促進、女性のキャリア支援、地域自治区の役員への積極的な女性登用」などの事業に取り組んでください。</p> <p>(理由)</p> <p>国際的なSDGSの広がりの中で、「ダイバーシティの尊重」を本計画に記載されたことは意義のあることだと思います。さらに、恵那市は若い女性の多くが市外県外へ転出し、これから親になる世代が減少の一途をたどる現状がある中で、若い女性がずっと恵那市で暮らし続けることができるまちづくりが求められています。とりわけ、恵那市においては、男女共同参画に関する市民意識調査で示されているように、男女平等社会であると思う市民が、わずか13%しかない状況があります。このように男性優遇とされている社会環境を見直し、平等社会へと変えていく「男女共同参画のまちづくり」を市の施策として取り組むことが、とても重要であると考えます。しかし、基本計画案全体をみても「男女共同参画の推進」は、「取り組みの柱」や「取り組み」に対応する文言等が明記されていないので、しっかり位置づけてください。ちなみに、東濃4市をみると当該市の総合計画基本計画に「男女共同参画の推進」を明記しています。そしてさらに取り組みについても詳細に記している自治体もあります。現在恵那市は、男女共同参画プランの中で、例えば、審議会等の委員の女性割合を4割にする、という目標を持ち、託児制度を設け若い女性が参加しやすいように努力を重ねているところです。一方、住民活動としての身近な地域自治区をみれば、役員の女性割合が低い現状があることについて課題です。審議会同様まずは女性委員を4割、中長期的に5割に引き上げる等の目標を持って取り組むなど、充実をはかっていただきたいと思います。以上の理由から、総合計画基本計画の中で「男女共同参画の推進」と明確に位置付けし、取り組みに紐づけていくことを提案します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、特に若い世代が恵那市に定着し、活躍できる環境を整えることは喫緊の課題だと認識しております。男女平等に関する市民意識調査の結果も重く受け止め、性別に関わらず誰もが能力を発揮できる社会の実現に向けた取り組みは不可欠だと考えております。</p> <p>「男女共同参画の推進」は、あらゆる施策分野において常に意識され、反映されるべきものであると考えております。そのため、あえて特定のページの「取組の柱」や「取り組み」に紐づけるような表現ではなく、基本計画の冒頭に位置する「SDGsの推進」の章において、「ダイバーシティの尊重」として明記しております。ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>ご提案いただいた具体的な取り組みについては、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
3	(4) 6月20日	<p>■ 51 ページ          取り組み3・観光振興の推進</p> <p>● 交流人口拡大と地域活性化を図るため、SLなどの産業遺産を活用したまちづくりを推進します。</p> <p>(意見・提案)          「交流人口拡大と地域活性化を図るため、SLなどの産業遺産を活用したまちづくりを推進します」。の一文は削除する。</p> <p>(理由)          SL事業については、市では初期コストがおよそ10億円、毎年の維持管理コストが1億6,000万円ほどかかると試算されています。そしてこの財源は、運賃、県国補助金、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等の寄附を充てると公表されています。特に、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等寄附という財源は、社会情勢等により、必ずしも毎年一定額を確保できるという保証のない財源です。仮に進めようとするれば、運賃収入は未確定、県国補助金は必ず市の負担分を伴うものであり、寄附に頼ろうとすれば自治体が寄付集めに奔走するという、財源確保のために苦労が絶えないことが予測されます。不安定な財源をあてにしたSL事業は、リスクを伴います。また「産業遺産」を活用するという表現についても、唐突に出てきたものであり、自治体計画に載せる段階ではないと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画案においてSLの活用に触れているのは、交流人口の拡大と地域活性化の選択肢の一つとして例示しているものです。検討委員会においても、SLの活用は観光振興の推進に寄与することはもちろん、多大な経済効果も生まれ、地域の活性化に結びつくものと考えられております。</p> <p>一方で、SL事業に対しては様々なご懸念をお持ちの市民の方もいらっしゃると思われます。事業化の際には、安定的な財源確保の見込みや事業の持続可能性について多角的に検証してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の事業検討における重要な視点として、参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
4	(1) 6月19日	<p>1. (4) 将来の人口推計</p> <p>① (p7)修正箇所：「人口減少を緩やかにしていくとともに、人口が減少したとしても！誰もが住み慣れた地域での生活を継続し、幸せに暮らせるまちづくりに取り組みます。」</p> <p>修正：「恵那市の人口減少に真摯に向き合い、誰もが住み慣れた地域での生活を継続し、幸せに暮らせるまちづくりのための持続可能なラインをイメージして、地域計画等、個別計画で、真っ先にやるべきことを真剣に考えた施策を打つ。」</p> <p>理由：総合計画審議会でもいみじくも副会長が言われたように、「減った人口の中でどうなるかをみんなで一生懸命考えていきたい」「これから地域計画を考えていくとき…真っ先にやるべきことを真剣に考えて、それを施策で打とう」と言われている。「人口は絶対に減る…持続可能なライン…そういうイメージ」を総合計画で必死になって打ち出さなければいけない。ところが「人口が減少したとしても」は行政側の逃げであり、不退転の決意が感じられないので削除する。</p> <p>消滅可能性都市は日本創生会議が提唱したものだが、自治体が破産しないよう、早くから対策を取るよう提唱されたものであるにもかかわらず、恵那市は着実に人口減少が進み、有効な対策が打てないまま推移しているからこそ、行政の真剣さが問われている。この計画がバックカスティング・アプローチであるならば、なおさら、その危機感や真剣さがなければ、「絵に描いた餅」となります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市における人口減少が喫緊かつ最重要の課題であり、これに真摯に向き合うべきであるというご意見につきまして、市としましても全く異存ございません。</p> <p>本計画における「人口が減少したとしても」という表現は、単なる現状追認ではなく、人口減少の傾向を食い止める努力と並行して、将来にわたり全ての市民が安心して暮らし続けられるまちを構築するという、市の未来を見据えたものです。これは、ご指摘のバックカスティングの考え方に基づき、あるべき未来から逆算して、今なすべき具体的な施策を策定していくという本計画の姿勢を示すものであります。</p> <p>いただいたご意見は、今後のまちづくりにおける重要な視点として参考にさせていただきます。</p>
4	(2) 6月19日	<p>2. (4) 計画の実行に向けて 計画の推進</p> <p>②(p29)修正箇所：「計画の推進にあたっては、計画実行評価見直しを繰り返すPDCAサイクルの考えに基づいた進行管理を徹底します。」</p> <p>修正：計画の推進にあたっては、計画実行評価見直しを繰り返すPDCAサイクルの考えに基づいた進行管理を徹底するため、特に評価(Check)と見直し(Action)が確実に実行されるような施策評価シートを長期的視野に立った分析可能な形式に発展させます。</p> <p>理由：PDCAサイクルを確実に実行するための修正です。第2次総合計画では、見直し年度で指標が変わってしまい経年変化が読み取れない項目が多数存在し、総合計画全体としての評価や見直しを次期計画に活かさない形式となってしまう。例えば、施策評価シートにおける令和2年版と令和3年版の隔たりがとても大きい。このままでは、コロナ対策がどのような影響を及ぼしたかの分析も難しい。評価(Check)と見直し(Action)が確実に実行されるシステムの構築が求められます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、計画の推進にあたっては、PDCAサイクルの確実な実行、特に評価(Check)と見直し(Action)がたいへん重要であると認識しております。</p> <p>また、第2次総合計画において、見直し年度で指標を変更したことで、経年変化が把握できないことは課題であると認識しております。</p> <p>施策評価シートの具体的な形式や運用は、計画をより実効性あるものとするための実務的な仕組みとなるため、計画書本体には記述しておりませんので、ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>施策評価シートは進行管理において重要なツールとなるため、第2次総合計画の課題・反省も活かしながら、検討・改善に取り組んでまいります。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
4	(3) 6月19日	<p>(5) 基本方針ごとの取り組み 取組の柱2 2 学校教育の充実</p> <p>③ (p35)修正箇所：遠距離通学が必要な児童・生徒のため通学の支援を行います。</p> <p>修正：児童・生徒のため、遠距離通学をはじめ通学全般について必要十分な平等公平な支援を徹底して行います。</p> <p>理由：SDGsで「誰一人取り残さない」としているように児童・生徒が遠距離が理由で取り残されないような支援が求められています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>SDGsで掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、市としても重要な指針として認識しています。</p> <p>ご指摘いただいた箇所は、通学手段の確保（例：スクールバスの運営）など、遠距離通学に特有の課題に対する具体的な支援を示したものです。「通学全般」への支援については、p45、p47で交通安全対策に関する取り組みや通学路を含む道路の整備について記載しており、これにより、市内の全ての児童・生徒が安全・安心に通学できる環境づくりに努めてまいります。</p>
4	(4) 6月19日	<p>④ (p35)修正箇所：誰もが高等教育を受ける機会を保障するため、高等教育の就学を支援します。</p> <p>修正：初等・中等教育をはじめとして、大学・大学院・短期大学・高等専門学校等の高等教育に至るまで、誰もが教育を受ける機会を保障するため就学を支援します。</p> <p>理由：高等教育とは学校教育の最高段階の教育で、日本では、大学・大学院・短期大学・高等専門学校などの教育を指す。恵那市において高等教育機関はほとんど存在しないが、様々な初等・中等教育をはじめ高等教育に至るまで、広く教育を受ける機会を保障する項目が必要です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、恵那市の子どもたちが高等教育のみならず「広く教育を受ける機会を保障する」ことが重要であると認識しております。</p> <p>本計画案では、p33において、「教育や医療にかかる費用の負担軽減や（中略）子育て世帯の経済的な負担への支援を行います」と記載しております。これにより、経済的な側面から子どもたちが教育を受ける機会を支援する方針を示しています。また、p35では、「学校生活に馴染むことが難しい児童・生徒の学習等の機会を確保します」や「障害や国籍などに関わらず、すべての子どもが安心して学べる支援体制を整えます」とあるように、あらゆる子どもたちが安心して学べる環境づくりに力を入れていく方針を示しています。</p> <p>ご提案の趣旨は、これらの既存の記載により、既に包含されていると考えておりますので、ご理解いただけますと幸いです。</p>
4	(5) 6月19日	<p>⑤ (p35)新規起案：若者の賑わう活気ある恵那のまちとなるように、東海大学機構等に働きかけて大学・大学院等の高等教育機関を創設し、自然を活かした産業で賑わまちづくりの技術者を集め養成します。</p> <p>理由：恵那市に高等教育(大学・大学院教育等)がほとんど存在しないことによる弊害が大きい。例えば、恵那市街に進学した学生の就職先がないため転出したままとならないような高等教育や高等教育講師陣、高等教育を受けた人材が住む町であることが求められている。私立機関対象では撤退など長期計画に馴染まないため広範な中部地域の国公立大学等を対象とした連携の項目を新しく起こします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、恵那市における高等教育機関の必要性、そして高等教育を受けた人材が地域に定着することの重要性については認識しているところです。</p> <p>しかしながら、本計画案（基本計画部分）は、原則として令和8年度からの4年間の取り組みを示すものであり、高等教育機関の創設は、実現に向けた準備に長い期間を要するため、この計画期間内に具体的に明記することは難しいと考えております。</p> <p>今後も関係機関との連携を深め、誘致に向けた可能性について継続的に探ってまいります。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
4	(6) 6月19日	<p>取り組みの柱10 1 産業振興の推進</p> <p>⑥ (p51)修正箇所：新産業の創出による地域課題の解決や雇用の確保のため、起業・創業を支援します。</p> <p>修正：市民全体が豊かに暮らせるよう、生産・製造、農・林・再生可能エネルギーをはじめとする産業全般を新しく創出し、起業や創業を進めて、雇用の確保や地域課題の解決に積極的に取り組みます。</p> <p>理由：地域の課題を解決するためには幅広く産業を起こさなければならないが、特に生産業と製造業と家庭用エネルギー産業が必要である。日本では今産業の空洞化が起きているがこれを復活させることにより第3次産業も自ずと盛んになります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご提案いただいた「生産・製造業、農林業、再生可能エネルギー関連産業」も、「新産業の創出」において支援対象とし、重視している分野ですが、本計画書では、特定の産業分野だけを挙げることはしておりません。これは、社会情勢や新たなニーズの変化に柔軟に対応し、多様な可能性を持つ新産業を幅広く支援していくためですので、ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
4	(7) 6月19日	<p>3 観光振興の推進</p> <p>⑦ (p51)修正箇所：リニア開業予定を見据え、広域観光連携を強化することで観光客を増やすとともに、多様性・多面性のある観光地づくりを進めます。</p> <p>修正：リニア開業予定を契機として、広範な市民が協働し広域観光地が連携でき、多様性・多面性のある観光地づくりを進めます。</p> <p>理由：リニアの開業が大幅に遅れているが、リニア開業以前に、市民が協働して品質の良い観光商品を開発をすることが何よりも重要であり、そのことが住民の稼ぎ・収入を増やし、持続可能で多様な集客可能な観光地づくりにつながります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、観光振興においては、市民の皆様の協働が重要であると認識しております。</p> <p>ご提案いただいた「広範な市民が協働し、品質の良い観光商品を開発する」という方法は、観光振興における重要な取り組みの一つであると認識しております。しかし、具体的な観光振興の進め方につきましては、多岐にわたる手法や可能性の中から、その時々状況や地域の実情に最も適したものを選択できるよう、本計画ではあえて特定の手法を明記しておりませんので、ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>ご提案いただいた内容は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
4	(8) 6月19日	<p>取り組みの柱11 背景と課題</p> <p>⑧ (p53)修正箇所：「食」は地域の魅力として観光振興の推進にも重要な役割を果たしていること、「農」は、恵那市の魅力の源泉である農村固有の美しい景観を創出していることを踏まえ、豊かな食生活や地域の魅力、地のものを食べる喜びを次代に伝えていくことが大切です。</p> <p>修正：「食」や「草木」「水」は恵那市の魅力の源泉であり美しい景観を創出し、恵那市民の豊かな生活の源泉でもあることを踏まえ、恵那市民の喜びを日本全国に発信し販売して、世代や時代を超え、みんなで分かち合うことが大切です。</p> <p>理由：農林業地の保護や保存にとどまらず、恵那で豊かな生活を送るために必要なものを取り上げてみんなで振興しなければならないものを明確に指し示すことが大切である。学校給食においては野菜の価格保証制度を適用するなどの対策が求められます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「背景と課題」では、農林業振興の推進における現状と課題を包括的に示すことを目的としております。そのため、ご提案いただいた恵那市の魅力の全国への発信・販売といった具体的な施策や要素については、記載しておりませんので、ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>なお、「食」については、p53で「伝統食の継承の推進」、「家庭や地域で培われてきた郷土食や行事食を若い世代に伝え、恵那の味を次世代に伝承します」とあり、「世代や時代を超え、みんなで分かち合う」ことについて記載しております。</p> <p>ご提案いただいた具体的な取り組みについては、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
4	(9) 6月19日	<p>1 農業・畜産振興の推進</p> <p>⑨ (p53)修正箇所：少人数で大規模営農できる効率的な農業を実現するため、スマート農業機械の導入やほ場整備事業を推進します。</p> <p>修正：少人数で大規模に営農できる効率的な農業のためのスマート農業機械、ほ場の整備や、地場の高品質な食品や材木の生産・製造・加工の整備の両輪で収益を最大化を推進します。</p> <p>理由：少人数で大規模に営農できる効率的な農業のためのスマート農業機械、ほ場の整備だけでは中山間地域はその競争力に限界があり、高品質な生産物・食品の生産・製造・加工の整備の両輪で収益を最大化することが求められています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>少人数での効率的な農業に加えて、高品質な生産物の生産・製造・加工を通じた収益の最大化が中山間地域において重要であるというご意見は、農業・畜産振興における重要な視点であると思います。</p> <p>ご提案いただいた「高品質な」という点につきましては、基本的な要素であり、常にその向上に努めているものです。また、「生産・製造・加工の推進や収益の最大化」につきましても、同ページの「食によるまちづくりの推進」における「食産業の活性化を推進します。」という記述にその趣旨が包括されていると考えております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の具体的な施策の参考にさせていただきます。</p>
4	(10) 6月19日	<p>2 食によるまちづくりの推進</p> <p>⑩(p53)修正箇所：食による交流人口の拡大、恵那グルメによる食産業の活性化を推進します。</p> <p>訂正：生産・加工・販売を連携させる第6次産業の創造とマーケティングにより、食関連の地場産業を活性化させ、交流人口を拡大し、確固とした恵那グルメのブランドを確立します。</p> <p>理由：中山間地域での産業振興には、地場の高価値商品の販売で競争することが最も効率的かつ合理的で、そのための全国的マーケティングと地元にお金が落ちるなどの利益をもたらす、地元では高価値商品が安く買える交流システムが必要となります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の箇所は、恵那市の食の魅力を最大限に活かし、地域経済の活性化を目指す基本的な方針を示しています。ご提案いただいた「第6次産業の創造」や「マーケティング」は、食産業の活性化に向けた有効な手法の一つであると認識しております。しかしながら、本計画では、特定の手法に限定せず、多様な可能性の中から地域の実情や市場の動向に応じた最適な取り組みを選択できるよう、包括的な表現としております。また、ブランドの確立は、長期的な視点に立った継続的な取り組みを要するもので、今後の個別計画や具体的な事業推進の中で、多様な手法を模索していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取り組みを進める上で参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
4	(11) 6月20日	<p>対象箇所：(p5,12,28,29)</p> <p>今回の恵那市第3次総合計画(恵那市未来ビジョン2045)は20年の基本構想と、はじめの4年(2026-2029年度)の基本計画から構成されていて、それはバックキャストイングの手法に基づくと書かれている。しかし2045年度の人口減少は、老年人口が生産年齢人口を上回り、基本構想の未来像が実現するとはとうてい考えられず、この点で、逆算して考える手法のメリットが見えてこない。</p> <p>バックキャストイング・アプローチの欠点は、(1)施策が誤った場合のリスクが大きい、(2)現実的でない施策に多額の予算や時間を割いてしまう、(3)短期的な課題解決は難しい、(4)何をすべきかが不明確で、モチベーションの低下、プロジェクトの停滞、などが起きるとされる。</p> <p>今回の計画では、各年度の実施計画は「主要事業の概要」に替えるとされる。さらに、「総合計画と地域計画は密接に連携」「総合計画と個別計画は車の両輪」など、令和7年6月18日の市議会議員の質問に対するまちづくり企画部長の答弁となっている。</p> <p>現状に即した短期的な解決を必要とする問題についてはフォアキャストイング・アプローチの方が適しているとされるが、この点で、「総合計画(基本構想と基本計画)」と「地域計画」「個別計画」「主要事業の概要」の相互の関係性やアプローチの方法が不明確なために、どのような連携が取られるのか見えてこないことが、今回の第3次総合計画の最大の問題点であり、欠点だと思われる。このままでは総合計画が「絵に描いた餅」に成りかねないという危惧を感じ、大幅な改善が必要と考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘いただいたご危惧は、本計画を推進する上で重要なご指摘であると認識しております。</p> <p>本計画がバックキャストイングの手法を採用しているのは、ご指摘のような人口構造が予測される厳しい状況だからこそです。「将来の理想のまちの姿」を市民の皆様と共有し、その実現のために「今、何をすべきか」を逆算して考えることに本質的な意義があります。特に、基本構想は20年後の未来を見据えたものですので、短期的な課題や現状にとらわれることなく、社会情勢の変化に左右されないブレない方針を持つことが大切であると考えております。</p> <p>総合計画がバックキャストイングによって定めた長期的なビジョンと初期の方向性を示す一方、地域計画や個別計画においては、それぞれの分野や地域の特性に応じた短期・中期的な課題解決に焦点を当て、必要に応じてフォアキャストイング的な視点も取り入れながら、具体的な施策を検討・実行していきます。これにより、各計画が相互に連動して機能する仕組みを構築してまいります。</p>
5	(1) 6月20日	<p>1 この計画が、20年後を見据えた長期ビジョンとなった理由を明記すべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>計画書は、恵那市の目指すまちの姿や基本方針、取り組みなどを、市民の皆様と共有するものであり、計画の構成や期間などの審議会で決定した事項については、策定に至る個々の詳細な理由や経緯を全て明記する性質のものではないと認識しております。</p> <p>計画期間の設定に関する市民の皆様のご関心は大変重要であると捉えております。いただいたご意見は、今後の計画の広報活動や説明の機会において、より分かりやすくお伝えしていくための参考にさせていただきます。</p>

NO	受付日	意見・提案	市の考え方
5	(2) 6月20日	<p>2 p.4 人口推計</p> <p>目標人口を設定していない理由がよくわからない。</p> <p>人口減少を緩やかにしていくとしているが、推計の人口を少しでも上回るよう施策を進めていくことが、行政にとって重要であると考え。特に周辺地域に住むものは、より人口減少が進むことは不安である。市として、人口の目標を掲げて施策を進めてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市の人口減少に対し、将来へのご不安を抱かれていますお気持ちを拝察いたします。市としても、人口推計を少しでも上回るような取り組みの必要性を認識しております。</p> <p>本計画において、特定の目標人口を設定していない主な理由は、人口の増減が国の動向や社会情勢に大きく左右されるものであり、市単独で達成する数値目標としての設定は困難であると考えたためです。数値目標として人口を追うのではなく、もしも推計人口通りの人口になったとしても、市民の皆様が住み慣れた地域で幸せに暮らせるまちづくりを目指すという考えのもと、本計画を策定しています。ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>いただいたご意見は、今後のまちづくりを進める上で、参考にさせていただきます。</p>
5	(3) 6月20日	<p>3 p.25 ダイバーシティの尊重</p> <p>SDGsの目標達成のためダイバーシティの尊重が重要であるとしているが、恵那市の目標が経済面の目標が重点となっており、多様性の実現を目指すものになっていない。そのためか、基本方針の中に多様性の足りないと感じられる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見でご懸念の「多様性の実現」につきましては、数値目標（KPI）でその達成度を測ることが難しい性質のものと考えております。</p> <p>「多様性の実現」は、特定の分野の指標とするに留まらず、本計画全体に関わる重要な視点として、すべての取り組みの中で意識し、推進してまいります。</p>
5	(4) 6月20日	<p>4 p.26 p.27</p> <p>KPIは示されているが、基準値がない。基準値を示してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>このページは、『恵那市SDGs未来都市計画』の内容を一部抜粋して掲載しております。</p> <p>そのため、基準値を掲載すると『恵那市SDGs未来都市計画』策定時（2020年）の古い数字になってしまうことと、このページは2030年の目標を明確にすることを目的としているため、あえて省略しておりますので、ご理解いただけますと幸いです。</p>
5	(5) 6月20日	<p>5 p.32～ 目標指標</p> <p>基本方針の目標指標としてそれぞれ3つの項目が挙げられているが、特に重要な目標として挙げられているかどうかよくわからない。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、それぞれの「取組の柱」には、3つの目標指標を定めております。</p> <p>「取り組み」には複数の取り組み内容が箇条書き形式で記載されておりますが、その全てを数値目標として設定することは、計画の性質上現実的ではありません。そのため、それぞれの「取り組み」の中から、その効果や進捗を最も的確に示すことができる項目を厳選し、目標指標として設定しているものです。</p>

NO		受付日	意見・提案	市の考え方
5	(6)	6月20日	6 p.32 指標 「理想のこどもの数と実際に持つつもりの数」 わかりづらい表現である。	ご意見ありがとうございます。 「理想的に持ちたいこどもの数と現実的に持ちたいこどもの数の差」に修正します。
5	(7)	6月20日	7 p.44 指標 「指定避難場所を知っている市民の割合」ではなく、「スフィア基準の達成率」を指標にしてほしい。	ご意見ありがとうございます。 本計画で「指定避難場所を知っている市民の割合」を指標としているのは、災害発生時に市民の皆様が迅速に安全な場所へ避難できるよう、防災意識の向上と初期行動の確実性を高めることが、最も基本的かつ重要であると考えているためです。 ご提案いただいた「スフィア基準」は、非常に重要な視点であると認識しております。しかしながら、この基準を総合計画の目標指標として市民の皆様によく分かりやすく示すことや、その達成度を数値として測ることは、現時点では困難であると考えております。また、本計画の指標は、防災に関する団体から選出された委員にもご参加いただいた審議会で慎重に議論を重ねて決定したものですので、ご理解いただけますと幸いです。
5	(8)	6月20日	8 p.55 移住定住の推進 結婚支援がどのくらい実績をあげているかわからないが、実績が上がっていないのであれば取り組みにいれなくてもいいのではないか。	ご意見ありがとうございます。 本計画における結婚支援の取り組みに関して、実績やその必要性にご疑問をお持ちのことと拝察いたします。 結婚支援の成果を測ることは難しさがあるのも事実ですが、結婚を望む方々がその希望を実現できるよう支援することは、まちづくりにおいても重要な意味を持つと考えております。特に、結婚を機に若い世代が恵那市に移住・定住することは、地域の活力維持や人口減少の緩和に効果があると考えております。 市としましては、このような理由から、結婚支援の取り組みを引き続き推進したく、記載しておりますので、ご理解いただけますと幸いです。

NO		受付日	意見・提案	市の考え方
5	(9)	6月20日	9 人口減になるとしても外国人の比率は上がってくると思う。この計画の中では、外国人との共生についてあまり考えていないように思う。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としても、本市の人口構成の変化、特に外国籍住民の増加は重要な視点であると認識しております。</p> <p>本計画では、「多様性の尊重」を重要な基本方針の一つとして掲げており、これは国籍はもちろん性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、すべての多様な背景を持つ人々が互いに認め合う社会の実現を目指すものです。特定の属性である外国籍の方に限定して、計画の項目を設けることをあえて行っていないのは、全ての市民が同じ「恵那市民」として共に地域を築き、共生していくという、より包括的で普遍的な視点を重視しているものですので、ご理解いただけますと幸いです。</p>